

(3) 申込みのてびき

ジャッソ

Jasso(日本学生支援機構) 予約奨学金の申込み方法の説明

「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学生予約採用の
申込みを希望する皆さんへ

申込みのてびき



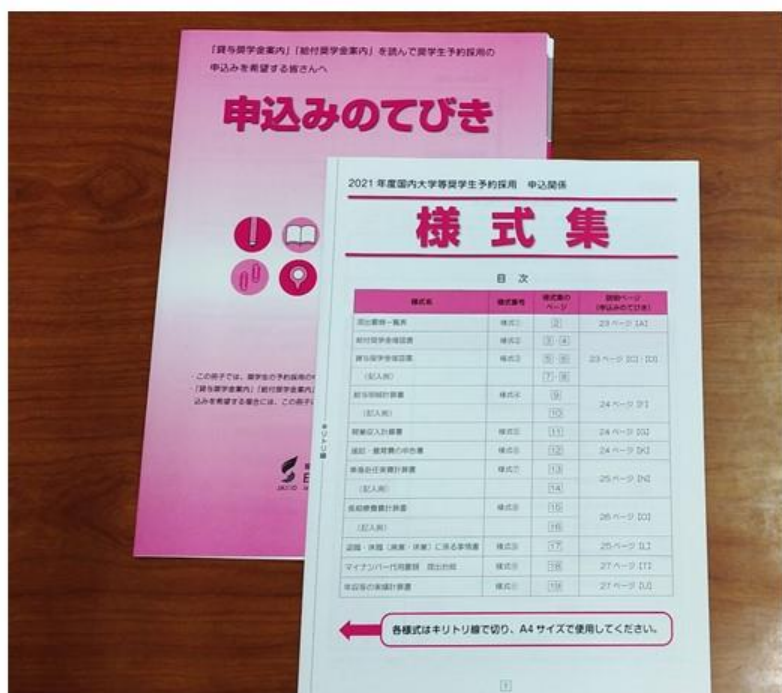
- ・この冊子では、奨学生の予約採用の申込手続きについて説明しています。
- ・「貸与奨学金案内」「給付奨学金案内」を読んで奨学金について理解したうえで、予約採用への申込みを希望する場合は、この冊子によって申込手続きを進めてください。

2020年度版
独立行政法人
日本学生支援機構
JASO
Japan Student Services Organisation

(2021年度国内大学等予約採用)

この冊子が申し込みに必要です。
冊子の真ん中（p.18と19の間）に
「様式集」がはさみこまれています
ので、
抜き取って2冊にわけておいてくだ
さい。

p.18 と 19の間に「様式集」が入っています。



「様式集」は
提出書類となります。
後ほど(後半のスライド)
で説明します。

「申込みのてびき」の使い方と流れ

申込みの流れ（目次）

I 申込みの準備 4～5 ページ



手続きの**期日**や、インターネットの入力に必要な
ID・パスワードを確認します。

II 申込内容の確認 6～21 ページ



申込みにおいて**申請・申告する内容**を、
説明を読みながら確認し、記入します。

スカラネット入力
のための下書き

III 必要書類の用意 22～31 ページ



申込みに必要な**書類**を用意します。

紙の提出書類に
ついてはココ

IV 申込情報の入力 32～33 ページ



申込情報をインターネット（「スカラネット」）で入力します。

自宅で入力する場合は
ココを熟読しよう

V 書類の提出 34～35 ページ



申込情報の入力が完了したら、必要書類を**提出**します。

- **マイナンバー**関係書類 **JASSO** に直接提出
- **マイナンバー**関係書類**以外**の書類 **学校**に提出

【申込手続き完了】



本冊子の中央（18 ページと 19 ページの間）には、「**様式集**」が挟み込まれています。
冊子から「**様式集**」を取り出して使用してください。（第三章で説明しています。）

1. 期限・提出先の確認

予約採用の申込みには、

- スカラネット（インターネット）での申込入力
- 必要書類の提出

が必要となり、それぞれ、**学校が定めた期限（締切）**までに行わなければなりません。
必ず事前にそれぞれの期限について学校に確認し、忘れないよう記入しましょう。
また、**学校に提出する書類の提出先**も併せて確認し、記入しておきましょう。

申し込みの機会は3回ありますが、
できるだけ早く申し込んでください。
第1回の締め切りは下記の通りです。

27日に人数が集中して3密
になった場合、
28日（木）・29日（金）
を予備日とする可能性あり。

スカラネットでの申込入力の期限		第1回：5月27日（水）（3回目の3年登校日）	
必要書類	マイナンバーの提出期限（JASSOに郵送）	スカラネット入力後1週間以内	
	マイナンバー関係書類 以外 の提出書類（ 学校 に提出）	提出期限	6月15日（月）（完成版提出）
		提出先	3年職員室 米田・辻林

2. ID・パスワードの確認

スカラネットにログインするには、**2組のIDとパスワード**が必要です。

- 「ユーザID」・「パスワード」
…**学校から配付**されます。(学校ごとにちがいます)
- 「申込ID」・「パスワード」
…**「マイナンバー提出書」**に記載されています。(提出書ごとにちがいます)

福泉高校の番号はこれです。
(全員同じ)

学校から配付される識別番号	ユーザID	2	6	3	2	7	9	0	0
	パスワード	7	9	h	z	h	r	q	x
「マイナンバー提出書」に記載	申込ID	Y	D	2	0				
	パスワード								



スカラネット
必ず控えてお

個人別のID：自分の「マイナンバー提出書」を見て書き写してください。
入力や問い合わせに必要なので必ず！

II 申込内容① あなた自身の情報

ここからは、スカラネットで入力（申込み）する内容の確認をしていきます。

- ・どのような書類が必要になるかを判断するためには、申込内容をしっかり確認する必要があります。
- ・ここで確認した内容はスカラネットで入力しますが、スカラネットは時間制限があるため、入力する内容を事前に確認して記入し、スムーズに入力できるよう準備しておく意味もあります。

●あなたの氏名・生年月日

漢字氏名	姓	名
カナ氏名	姓	名
生年月日	(和暦) ・ 昭和 ・ 平成 年 月 日	



- ① カナ氏名には、「ワ」は使わず、読み方をあらわす「オ」を記入してください。
- ② 氏名が漢字・仮名でない場合、漢字氏名・カナ氏名ともカタカナで記入してください。(アルファベット不可)
- ③ ミドルネームがある場合、ミドルネームとファーストネームをつなげて名の欄に記入してください。(漢字は姓・名それぞれ5文字まで、カナは15文字まで、入るところまで記入してください)

左ページに入力事項を下書きしておき、LAN教室のパソコンまたはスマホで、右ページのように入力していきます。入力には時間制限があるので、必ず下書きしておいてください。

●「誓約」画面

B-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿
以下の申込み記載事項について正しく記入し、奨学生として採用されたときは、定められた期間までに必要な書類を提出することを誓約します。

誓約日(入力日)
スカラネットに入力した日を入力 → 令和 年 月 日 半角数字

漢字氏名(全角)
姓(5文字以内) 名(5文字以内)

カナ氏名(全角)
姓(15文字以内) 名(15文字以内)

生年月日(和暦)
 年 月 日 半角数字

●あなたの国籍・在留資格等

国籍	・日本国	・日本国以外	
在留資格	・永住者 ・特別永住者	・日本人の配偶者等 ・永住者の配偶者等	・定住者
在留期限 (満了日)		(西暦) 年 月 日	(西暦) 年 月 日
永住の意思		・はい(あり) ・いいえ(なし)	



- ① 在留資格・在留期限は、**在留カード・特別永住者証明書**を見ながら選択・記入してください。
- ② 国籍が日本国以外の人は、選択した**在留資格の証明書類**の提出が必要です。(23 ページ)
なお、選択肢にない在留資格の人や、永住の意思がない定住者の人は採用されません。
- ③ 在留期限が申込日(スカラネット入力日)より前の人は、**在留資格更新の申請をしたことを示す書類**の提出が必要です。(23 ページ [B])
- ④ 在留期限が進学日より前の人は、進学時にも在留資格の証明書類(在留期限が進学日以降のもの)の提出が必要です。(進学日までに在留資格更新の申請を行い許可されている必要があります。)

国籍が日本国なら、
それ以外は記入・入力の
必要なし



国籍 日本国 日本国以外

国籍が「日本国以外」の場合、在留資格を選択してください。

在留資格

在留期限 西暦 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。

はい いいえ

● あなたの性別・連絡先

性別	・男 ・女										
現住所	〒										都道 府県
電話番号	自宅 (固定)							携帯			



あなたの携帯



- ① 性別の記入は任意です。
- ② 現住所は、現在住んでいる住所を記入してください。(必ずしも住民票と一致していなくても構いません。)
- ③ 提出いただいたマイナンバー（JASSOに直接郵送）に不備があった場合は、この連絡先に連絡します。
間違いの無いように記入してください。

下の注意事項もよく読んで、電話番号も記入。
固定電話がない場合は、保護者の携帯番号でもOK
不備があった場合、連絡が取れるように、必ず記入してください。

● あなたの在籍（卒業）校

このように記入してください。



学校名	大阪府立 福泉高等学校			
課程（分野学科）	（下の表の中から当てはまるものを記入）		全日制	
学科（昼夜課程）	（下の表の中から当てはまるものを記入）		普通科	
クラス	3 年	()	組	出席番号 ()
卒業（予定）年月	(西暦) 2021 年 3 月			



- ① 課程・学科について、どの選択肢を記入すればよいか分からない場合は、**学校に確認**してください。
- ② 既卒生の方は、クラスは空欄で構いません。（学校から指示があった場合はそのとおりに記入してください。）
- ③ 現役生の方は卒業予定年月を、既卒生の方は卒業年月を記入してください。（卒業後2年まで申込みできます。）
（貸与奨学金案内7ページ、給付奨学金案内5ページの申込資格を確認してください。）

● JASSO の奨学金の利用経験

日本学生支援機構奨学金の利用経験	<input type="radio"/> はい (ある) <input checked="" type="radio"/> いいえ (ない)
奨学生番号	00・01・07・コウ・タ・セコ



都道府県等、JASSO 以外の団体が実施している奨学金は除きます。

育英会の奨学金などを受けていても
「いいえ」

● 希望する奨学金の種類

給付 (=もらえる) 貸与 (=借りる) どちらも家計による制限がありますが、両方を希望することもできます。

給付奨学金の申込み	・希望します	・希望しません
貸与奨学金の申込み	・希望します	・希望しません
希望する貸与奨学金の種類 (申込区分)	1. 第1希望：第一種 2. 第1希望：第一種、第2希望：第二種 3. 第1希望：第二種 4. 第1希望：併用貸与 5. 第1希望：併用貸与、第2希望：第一種 6. 第1希望：併用貸与、第2希望：第一種、第3希望：第二種 7. 第1希望：併用貸与、第2希望：第二種	
入学時特別増額貸与奨学金 (一時金)の申込み	・希望します	・希望しません

無利子
最高54,000円
(私大自宅の場合)

有利子
最高120,000円
(私大自宅の場合)

貸与奨学金案内(青)をよく読み、1.~7.のうちから1つ選んでください。わからない場合、おすすめは6.です。ただし、55000円/月以上借りたい場合は7.にしてください。

一時金もいざという時のため、おすすめです。(詳細は貸与案内 p.22~23)



- 併用貸与とは、第一種奨学金と第二種奨学金を併せて利用することです。(貸与奨学金)
- 申込後の変更・修正はできませんので、慎重に選択してください。
- 希望する奨学金の種類により、「給付奨学金確認書」(様式②)・「貸与奨学金確認書」(様式③)の提出が必要です(23ページ【C】・【D】)。なお、希望する奨学金の種類によらず、「提出書類一覧表」(様式①)は全員提出が必要です。(23ページ【A】)

返還（お金を返す）のことを考えて借りすぎないように注意！

貸与案内（青）の家計基準や月額をよく読んで必要な額を申し込んでください。

進学後、金額・変換方式など変更可能です。

不要になれば辞退できるので50万をおすすめします。

▲ 貸与奨学金の内容（貸与奨学金を希望する人のみ記入）

上で選択した貸与奨学金の希望にしたいが、その内容を選択してください。

なお、以下の選択はいずれも**進学時に変更が可能**です。（貸与奨学金案内 26 ページ）

	金額 貸与奨学金案内 4 ページ	返還方式 貸与奨学金案内 16 ページ	保証制度 貸与奨学金案内 13・14 ページ	利率の算定方法 貸与奨学金案内 15 ページ
第一種奨学金	・最高月額 ・最高月額以外の月額	・所得連動返還方式 ・定額返還方式	・機関保証 ・人的保証 ※所得連動返還方式を選択した人は機関保証となります。	
第二種奨学金	月額_____万円 ※2万円～12万円の中から1万円単位で選択できます。	（選択不可） ※定額返還方式となります。	・機関保証 ・人的保証 ※第一種奨学金と併せて希望し、第一種奨学金で定額返還方式を選択した場合は、第一種奨学金と同じ保証制度となります。	・利率固定方式 ・利率見直し方式
入学時特別増額貸与奨学金	一時金 50 万円 ※10万円～50万円の中から10万円単位で選択できます。	（選択不可） ※定額返還方式となります。	（選択不可） ※第二種奨学金と併せて希望する場合は第二種奨学金と同じ保証制度となります。第二種奨学金を希望しない場合は第一種奨学金と同じ保証制度となります。	・利率固定方式 ・利率見直し方式 ※第二種奨学金と併せて希望する場合は第二種奨学金と同じ算定方法となります。



- ① 金額について、併用貸与を希望する人は、併用貸与が利用できる場合の月額として選択してください。
- ② 入学時特別増額貸与奨学金の額は、**進学前には変更ができません**ので、労働金庫の入学時必要資金融資制度（つなぎ融資）の利用を検討している人は、注意して選択してください。（貸与奨学金案内 23 ページ）

II 申込内容③ 世帯の状況

ここからは、あなたの家族の状況を確認していきます。次の人を確認しましょう。

- 給付奨学金を希望する人…「生計維持者」を確認
 - 貸与奨学金を希望する人…「生計維持者」「就学者・就学前の家族」「その他の家族」を確認
- まず、「**社会的養護を必要とする人**」(3ページ)に当てはまるかどうかを確認します。該当する人は、**1人家族(あなた自身が生計維持者)**として扱います。

●社会的養護を必要とする人

社会的養護	(18歳となった時点で(まだ18歳となっていない人は申込時点で)次の施設に入所して(養育されて)いたか)		
	・はい(「社会的養護を必要とする人」である) ・いいえ(「社会的養護を必要とする人」ではない)		
	・児童養護施設入所者等	・児童自立支援施設入所者等	
	・児童心理治療施設入所者等	・自立援助ホーム入所者等	
	・里親に養育されている(いた)	・ファミリーホームで養育されている(いた)	
入所年月	施設に入所した(里親に育てられた)のはいつからか(西暦) 年 月		



自立援助ホーム入所者の場合、入所していることの証明書類の提出が必要です。(23ページ[E])
(その他の施設等の場合、提出されたマイナンバーで情報を確認しますので証明書類は不要です。)

次は生計が同じである世帯(同じ人の収入で生活している家族)について記入していきます。

「社会的養護を必要とする人」に当てはまらなかった人は、次のチェック表で家族の分類を確認しましょう。

【家族分類チェック表】 あなたの家族（同一生計の人）を記入して次のことを確認しましょう。

① **あなた**の名前を本人欄に記入しましょう。

② **父母**の名前を記入しましょう。

- ・親権のある父・母は別居していても原則同一生計と見なします（記入が必要です）。
- ・父（母）の再婚相手は、同居している場合は原則同一生計と見なします（記入が必要です）。
- ・行方不明、意識不明等の特殊な事情がある場合は同一生計から除外できる場合があります。

③ **父母以外の家族**の続柄・名前を記入しましょう。

- ・独立して生活している人（兄弟等）は含みません。

④ 小学校～大学に在学中の人の場合、「**就学者**」の欄に○を、小学校入学前のこども（弟・妹等）の場合、「**就学前**」の欄に○を記入しましょう。

⑤ 父母2人ともいない場合は、あなたの生計を維持している主たる人（1名）の「**生計維持者**」欄に○を記入しましょう。

注意→

	続柄	名前	生計維持者	就学者	就学前
1	本人			○	
2	父		○		
3	母		○		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

- ・ **同一生計（＝生計維持者が同じ）**である家族を記入し分類します。
- ・ 右ページ（p.13）の説明もよく読んで記入してください。
- ・ **プリント裏に記入例あり〈特に注意！②〉**

・ 「生計維持者」は貸与案内p.9（給付p.8）を参照してください。**収入がなくても「生計維持者」**です。

・ 貸与奨学金希望者のみ記入が必要な項目もあります。

● 家族人数

家族人数	(上の表で記入した家族の人数を記入→)	人
------	---------------------	---

II 申込内容③ 生計維持者の情報

父・母の場合です。
1人の場合はp.16で
理由を選択します。

● 生計維持者の人数

生計維持者人数 (12 ページの表で確認した人数を選択→) ・1人 **・2人**



生計維持者が父・母の2名とならない場合は、その理由の申告が必要で(16 ページ)。

● 生計維持者の基本情報

12 ページで確認した「生計維持者」について記入してください。

	生計維持者①				生計維持者②			
続柄	・父				・母			
	・祖父	・祖母	・本人	・その他	・祖父	・祖母	・その他	
漢字氏名	姓	名			姓	名		
カナ氏名	姓	名			姓	名		
生年月日	(和暦)	年	月	日	(和暦)	年	月	日

父・母の名前の
漢字の変換ミス、
生年月日の入力
ミスに注意して
ください。



① 続柄は、父・母の組合せか、父以外・母以外の組合せしか選択できません。(義父(母)は父(母)を選択してください。)

② 漢字氏名は姓・名それぞれ5文字まで、カナ氏名は姓・名それぞれ15文字までです。

●生計維持者のその他の情報

あてはまるものに○してください。

	生計維持者①	生計維持者②
マイナンバーの提出	<ul style="list-style-type: none"> ○準備できている ・これから準備する ・その他（提出できない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備できている ・これから準備する ・その他（提出できない）
提出できない事情	<p>「その他」を選択した人は提出できない事情を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため ・病気等により署名できない ・その他 	<p>「その他」を選択した人は提出できない事情を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため ・病気等により署名できない ・その他
2020年1月1日時点の生活保護の受給	<ul style="list-style-type: none"> ・はい（受給していた） ・いいえ（受給していなかった） 	<ul style="list-style-type: none"> ・はい（受給していた） ・いいえ（受給していなかった）
2020年1月1日時点の住民票	<ul style="list-style-type: none"> ・はい（日本国内にあった） ・いいえ（日本国内になかった（海外転出）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・はい（日本国内にあった） ・いいえ（日本国内になかった（海外転出））



① 申込みには、**申込者（あなた）・生計維持者のマイナンバー**の提出が必要です（26・27 ページ [Q]・[R]・[S]）。マイナンバーの交付を受けていない等により提出できない場合も、「マイナンバー提出書」やマイナンバーに代わる書類の提出が必要です。（26・27 ページ [Q]・[T]）



- ② 2020年1月1日時点で日本国内に住民票がなかった人は年収等に関する書類が必要です。（27 ページ [U]・[V]）
- ③ 生活保護については、世帯主でなくても生活保護世帯に属していた人は「はい」（受給していた）を選んでください。

申込者本人と、生計維持者①、②のマイナンバーが必要になります。マイナンバーカード、または通知書を用意しておいてください。

II 申込内容④ 生計維持者の収入・資産

1.~2. の記入例

父 = 自営業 母 = パートを2019年 (H31)1月
2日以降に転職した場合

▲ 生計維持者の収入 (貸与奨学金を希望する人のみ記入)

生計維持者の**申込時点**の収入の種類をチェックしてください。(あてはまるものすべてにチェック)

申込時点の収入の種類		証明書類	生計維持者①	生計維持者②
収入あり	1. 給与			
	2019年1月1日以前から勤務	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2019年1月2日以降に就職・転職	必要(24ページ [F])	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2. 商店・農業工業・個人経営による所得			
	2019年1月1日以前から営業	不要(マイナンバーで確認)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2019年1月2日以降に開業	必要(24ページ [G])	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3. 失業手当	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4. 生活保護	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5. 年金(遺族年金・障害年金含む)	必要(24ページ [H])	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6. 傷病手当金	必要(24ページ [I])	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 児童手当	不要(マイナンバーで確認)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
8. 児童扶養手当	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
9. 特別児童扶養手当	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
10. 労災・親族等からの援助や養育費	必要(24ページ [J]・[K])	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
無収入	11. 無収入(1~10の収入なし)			
	2019年1月1日以前から無収入	不要(マイナンバーで確認)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2019年1月2日以降に退職・廃業し無収入	必要(24ページ [L])	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3. ~ 10.

手当を受けていればチェックしてください。
例) 児童手当を受けている

11.

1.~10.に☑が入らない場合に記入してください。




チェックをつけた収入の種類により、証明書類が必要になる場合があります。(証明書類欄で確認してください)

大まかな貯金額を記入します。

★資産（給付奨学金を希望する人のみ記入）

あなた（申込者）と生計維持者の資産を記入してください。（1万円未満は切り捨て）

あなた	生計維持者①	生計維持者②	合計
万円	万円	万円	万円



- ① 申告の対象となる資産の範囲は次のとおりです。（土地・建物等の不動産は含みません。）
 - ・現金及びこれに準ずるもの（投資信託、投資用資産として保有する金・銀等）
 - ・預貯金（普通預金、定期預金等）
 - ・有価証券（株式、国債、社債、地方債等）
- ② 資産が基準額を超える場合は採用されません。（給付奨学金案内7ページ）

基準額は
生計維持者 2人の場合：2,000万円
1人の場合：1,250万円

● 生計維持者が1名となる理由 **(生計維持者が父・母2名でない人のみ選択)**

生計維持者について、父・母2名とならない理由を選択してください。

理由	・死別	・離婚等（離婚調停中、DVによる別居中、未婚等を含む）により別生計
	・生死不明、意識不明、精神疾患等のため意思疎通不可	・申込者が配偶者に扶養されている
	・その他（ <input type="text"/> ）	



選択内容について JASSO の審査の過程で疑義が生じた場合、理由を証明する書類の提出を求める場合があります。



Ⅱ 申込内容⑤ 生計維持者以外の家族

ここから先は、貸与奨学金を申し込む人のみ確認が必要な内容になります。給付奨学金だけを申し込む人は、申込内容の確認は完了しています。必要書類の準備（第Ⅱ章・22ページ～）に進んでください。

▲ 就学者・就学前の家族の人数（貸与奨学金を希望する人のみ記入）

12 ページで確認した「就学者・就学前の家族」の人数（あなた自身を含みます）

人



▲就学者・就学前の家族の情報（貸与奨学金を希望する人のみ記入）

「就学者・就学前の家族」のうち、あなた以外の人がいれば記入してください。

就学者とは
小・中・高等学校
～専門学校、大学
などに在学中
＝下の□を参照

就学前とは
0歳～小学校に入る
前まで
＝下の□内の
「幼稚園その他」
です
プリントの裏に記入例
あり

続柄	漢字氏名		学校設置者	在学している学校（種類）	通学別
	姓	名			
			・国公立・私立・就学前	下の□内から 選択します。 学校名は記入 しません。	・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外
			・国公立・私立・就学前		・自宅・自宅外



記入しきれない場合（7人以上）は、学校に相談してください。

●「就学者・就学前の家族」の、「続柄」・「在学している学校」の選択肢

続柄	・兄弟	・弟妹	・その他
在学している学校	・小学校	・中学校	・高等学校
	・高専（1～3年次）	・高専（4・5年次・専攻科）	
	・専修学校（高等課程）	・専修学校（専門課程）	
	・短期大学	・大学	・大学院
	・幼稚園その他（小学校入学前）	←「就学前」の人の場合に選択	

▲ その他の家族の情報 (貸与奨学金を希望する人のみ記入)

12 ページで確認した「その他の家族」がいれば記入してください。

続柄	漢字氏名		現在の年齢
	姓	名	
			歳
			歳
			歳
			歳
			歳

● 「その他の家族」の、「続柄」の選択肢

- ・ 兄弟
- ・ 弟妹
- ・ 祖父母
- ・ おじおば
- ・ その他

生計維持者、就学者、就学前の家族以外で、同一生計の家族＝同じ生計維持者の収入で生活している家族がいれば、記入します。

* 上の□の選択肢を参照

プリントの裏に記入例あり。

Ⅱ 申込内容⑥ 家族の特記情報（特別控除）

貸与奨学金の家計基準の判定において、次の特別な事情にあてはまる家族（世帯）の場合、生計維持者の収入額から「特別控除」額として控除（引き算）した金額で、審査を受けることができます。



- ① 控除の申請に必要な証明書類は **25・26 ページ【M】～【P】** を確認してください。（母子・父子世帯の証明書類は不要です）
- ② 控除は**希望制**です。希望しない場合や証明書類を提出できない場合は「いいえ」を選択してください。

注意！

▲ 母子・父子世帯（ひとり親世帯）

母子・父子世帯（ひとり親世帯）である場合、一定額を控除します。

あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。

・はい ・いいえ

II 申込内容⑥ 家族の特記情報（特別控除）

貸与奨学金の家計基準の判定において、次の特別な事情にあてはまる家族（世帯）の場合、生計維持者の収入額から「特別控除」額として控除（引き算）した金額で、審査を受けることができます。

- ① 控除の申請に必要な証明書類は 25・26 ページ [M] ~ [P] を確認してください。（母子・父子世帯の証明書類は不要です）
 ② 控除は希望制です。希望しない場合や証明書類を提出できない場合は「いいえ」を選択してください。

▲母子・父子世帯（ひとり親世帯）

母子・父子世帯（ひとり親世帯）である場合、一定額を控除します。

あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。 はい いいえ

▲障がいのある人がある世帯

障がいのある人（申込者本人を含む）がいる世帯の場合、障がいのある人の人数に応じて一定額を控除します。

あなたを含め、家族の中に障がいのある人（共に住所を有する介護の必要な人等を含む）がいますか。 はい いいえ
 「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 人

▲生計維持者が単身赴任している世帯

生計維持者が単身赴任により別居している場合、別居に係る支出額の年額を 71 万円を上限として控除します。

生計維持者が単身赴任等で別居していますか。 はい いいえ

- ⚠ ① 申込時点で単身赴任が終了している場合や、家庭の事情により自発的に別居している場合は控除の対象外です。
 ② 対象となる費用は、家賃、光熱水道費、家具・家事用品の実費（雑費等の補助を受けていないもの）に限ります。（クリーニング費、食費、送迎交通費、ガソリン代、駐車場代、電話代、受信料、新聞代等は対象外です。）

▲長期療養者がいる世帯

6か月以上にわたり療養中または療養を必要とする人（申込者本人を含む）がいる場合、療養のために必要な支出額の年額を控除します。

あなたの家庭に、6か月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。 はい いいえ

- ⚠ ① 申込時点で療養が終了している場合や、単発の通院や手術は控除の対象外です。
 ② 対象となる費用は次のもの（保険や損害賠償等により補てんされた金額を除く）に限ります。
 ・医師（歯科医師）による診察・治療費 ・マッサージ・はり・きゅう柔道整復等の治療費
 ・治療または療養のための医薬品費 ・看護人に支払う費用（ほかない費を含む）
 ・病院・診療所の入院費用・通院費用（必要不可欠なものに限る）
 ・介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた人がサービスを利用した場合の自己負担額（元給費、定額ベッド料、食費、老人ホームの入居費、食事療養費、保険適用外の文書料等は対象外です。）

▲災害または盗難等の被害を受けた世帯

この1年間に災害または盗難などの被害を受けたことにより2年以上にわたって支出の増加または収入の減少となる場合、支出の増加または収入の減少となる額の年額を控除します。

この1年間に火災・風水害または盗難等の被害を受けたことがありますか。 はい いいえ
 「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるか 支出の増加がある はい いいえ
 収入の減少がある はい いいえ

左の4つについて
 控除（収入から引く）を希望する
 場合は証明書類が必要です。

様式①、②、③とともにホチキス
 留めして提出します。
 p.25～26参照

希望する → はい
 希望しない → いいえ

Ⅲ 必要書類① 必要書類一覧

ここでは、申込みに必要な書類を表にまとめています。

必要な書類は、あなたの希望する奨学金の種類や、生計維持者の収入状況等によって異なりますので、第Ⅱ章「申込内容の確認」のページで選択した状況等により、必要な書類の記号を確認しましょう。

書類の記号	提出が必要な人	第Ⅱ章のページ	
A	全員 様式①	—	
B	申込者本人の国籍が「日本国以外」の人	6ページ	
C	「給付奨学金の申込み」を「希望する」人 様式②③	10ページ	
D	「貸付奨学金の申込み」を「希望する」人		
E	「自立援助ホーム入所者等」の人		
F	現在の収入状況が「1. 給与 2019年1月2日以降に就職・転職」にあてはまる生計維持者	16ページ	
G	現在の収入状況が「2. 商店・農業工業・個人経営による所得 2019年1月2日以降に開業」にあてはまる生計維持者		
H	現在の収入状況が「5. 年金（遺族年金・障害年金含む）」にあてはまる生計維持者		
I	現在の収入状況が「6. 養育手当金」にあてはまる生計維持者		
J	現在の収入状況が「10. 防災・義族等からの援助」にあてはまり、防災を受給している生計維持者		
K	現在の収入状況が「10. 防災・義族等からの援助」にあてはまり、援助を受けている生計維持者		
L	現在の収入状況が「11. 無収入（1～10の収入なし） 2019年1月2日以降に退職し無収入」にあてはまる生計維持者		
M	障がいのある人がいる世帯の控除を希望する人		
N	生計維持者が単身赴任している世帯の控除を希望する人		
O	長期療養者がいる世帯の控除を希望する人		
P	災害または盗難等の被害を受けた世帯の控除を希望する人	20ページ	
Q	全員	マイナンバー提出書類	
R	全員		
S	全員		
T	マイナンバーの提出ができない人		28ページ
U	2020年1月1日時点で海外居住していた生計維持者がいる世帯		29ページ
V	2020年1月1日時点で海外居住していた生計維持者がいる世帯	31ページ	

提出が必要な書類の記号を確認したら、次のページからその記号の書類の内容を確認し、用意しましょう。

⇒ 記号 A～V の説明は p.23～27 にあり。

全員学校へ提出するもの

= A【様式①】とC,Dの両方またはどちらか1つ

給付希望→C【様式②】

貸与希望→D【様式③】

それ以外はp.16, p.20で必要とされた書類がある人のみ提出

マイナンバー提出書類（QRS）は全員スカラネット入力後に郵送です。（特定記録郵便）

プリント裏に例あり。〈特に注意！③〉

入力前に下書きを完璧に！

1. 入力前の確認

スカラネット入力を始める前に、次のことを確認しましょう。

確認事項	チェック
●入力画面は、セキュリティ上1画面あたり30分以内という制限時間があります。 4～21ページの記入を完了させ、スムーズに入力する準備・確認ができていますか。	<input type="checkbox"/>
●スカラネット入力後は、入力内容に誤りがあった場合、手続きに時間がかかります。 (項目によっては、もういちど申込手続きをやりなおす必要があります。) 4～21ページの記入内容に間違いがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
●スカラネット入力後は、1週間以内に「マイナンバー」を提出する必要があります。 マイナンバーの提出に必要な書類(26・27ページ【Q】・【R】・【S】)は用意できていますか。	<input type="checkbox"/>

入力期限

1回目：5月中

2回目：6月中

3回目：7月中

入力が遅いと決定通知（結果がわかる）も遅くなります。

2. 受付時間と動作環境

- 受付時間 8:00~25:00 (24:00~25:00は翌日受付扱い)
(最終締切日の受付時間は8:00~24:00)
- 動作環境 **PC・スマートフォン・タブレットのいずれからでも入力が可能です。**
OS : Windows系、iOS系、Android系
ブラウザ : Internet Explorer、Microsoft Edge、
iOS版 Mobile Safari、Android版 Google Chrome
(注意) MAC系OSや、Firefox、PC版 Google Chrome等、上記以外の環境下においては未確認のため動作保証しておりません。
※推奨する詳細な製品名等は、スカラネットのトップページを参照してください。
- 対応文字 Windows-31J (JIS 第一・第二水準を含む) の文字が入力できます。
※ **エラーになった場合は、通用字体に替えて (通用字体が無い場合はひらがなで) 入力してください。**

本校のLAN教室のPCで入力する場合、**5/20(水) または 5/27(水)の予定です。27日に集中する可能性が高いので、できるだけ20日に入力してください。**

(6月以降の第2回、第3回については後日連絡)

指定の期間に入力できなかった場合、自分一人でスマホや自宅のPCで入力することになります。

様式①

提出書類一覧表

提出書類を一覧表の順番で重ね、ホチキスで左側を2点留めてください。
(インターネットでの申込入力済みの後、最後に表示される受付番号を必ず記入してください)

受付番号											-100・107-	
学校名												
年	組	番	氏名									

提出する書類のチェック欄に「✓」を記入してください。(●は全員提出が必要、○は該当者のみ提出が必要)

書類名	2027ページの記号	チェック欄	
		給付	貸与
本様式 ● 提出書類一覧表【様式①】	A	<input type="checkbox"/>	
申込み ● 確認書【様式②】(給付)【様式③】(貸与)	CD	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	○ 確認書に親権者が署名できない場合の追加書類	-	<input type="checkbox"/>
	○ 申込資格に関する証明書類	B	<input type="checkbox"/>
社会的養護 ○ 社会的養護に関する証明書類	E	<input type="checkbox"/>	
収入 ○ 収入に関する証明書類	F, G, H, I, J, K, L	-	<input type="checkbox"/>
特別控除関係 ○ 障がいのある人に関する証明書類	M	-	<input type="checkbox"/>
	○ 単身赴任実費計算書【様式7】 + 生計維持者の単身赴任の実費に関する証明書類	N	-
	○ 長期療養費計算書【様式8】 + 長期療養費に関する証明書類	O	-
	○ 災害等による長期収入減(支出増)の証明書類	P	-
その他 ○ マイナンバーの代用書類	T	<input type="checkbox"/>	
	○ 海外居住者の提出書類	U, V	<input type="checkbox"/>

【注意】 マイナンバー提出書類(22-27ページの記号 Q, R, S)は、専用の封筒に入れて JASSO に直接郵送してください。

次は「提出書類」についてです。
 抜き取った「様式集」を見てください。
 「様式集」と書かれているページの裏面が様式①「提出書類一覧表」です。

- ・ 受付番号 (1つ前のスライドで説明した、入力後に表示される番号) を必ず記入
- ・ キリトリ線で切ってA4にする
- ・ 【様式①】 (この紙) を表紙にして、リストの順にホチキス留め



学校3年職員室 (米田・辻林) へ提出
6/15 (月) まで (厳守)

○ 確認書の記入例

確認書（※）とは、奨学金を申込むにあたり、奨学金の制度・手続き等に関する定めに従うことについて確認、同意したことを確約する、重要な書類です。

（※）「貸与奨学金確認書（兼個人情報取扱いに関する同意書）」と「給付奨学金確認書」をまとめて「確認書」と表記します。

確認書の裏面に記載の事項は、「貸与奨学金案内」、「給付奨学金案内」及び本冊子に記載している内容です。これらの冊子をよく読み、理解したうえで記入してください。特に、**貸与奨学金は、返還する必要がある**ことを改めて認識したうえで記入してください。

（1）記入・署名押印が必要な人

あなた（申込者本人）と、あなたが記入日時時点で未成年の場合は**親権者**の記入・署名押印が必要です。

- ① 親権者が父母ともにいる場合は、**父母2人ともそれぞれ記入・署名押印**が必要です。
- ② 親権者が（海外）単身赴任等により別居している場合であっても、記入・署名押印する必要があります。単身赴任先へ確認書を送る等により作成してください。
- ③ 家庭裁判所により未成年後見人が選任されている場合は、未成年後見人（全員）の記入・署名押印が必要です。
- ④ 親権を持っていない人（離婚して親権者ではなくなった父・母や、祖父母等）は、記入・署名押印する必要はありません。
- ⑤ 親権者に障害がある等、親権者が署名できない特殊な事情がある場合は、学校へ相談してください。

様式集 p.7
とp.8の
記入例をよく
読んで黒ボール
ペンで記入
してください。

(2) 作成上の注意点

赤字の部分に注意してください

次の注意点をよく読んで、次ページ **8** を参考に作成してください。

なお、提出された確認書に不備があった場合、作成し直して再度提出していただきます。

- ① 様式をコピーして使用する場合は、**両面コピー**したものを使用してください。
- ② 黒又は青の、**消せないボールペン**で記入してください。
- ③ それぞれの欄は、**それぞれの人各自で記入・署名押印**してください。
- ④ **住所は省略せず**に記入してください。(住民票に関わらず、**現在住んでいる住所**を記入してください。)
- ⑤ 署名は、**住民票に記載された表記で、判読できるよう丁寧に**おこなってください。
- ⑥ 押印は、**それぞれの人の印章(ハンコ)**を使用してください。
- ⑦ 記入を誤った場合は、誤った箇所を二重線で消し、その人が押印した印を二重線に重ねて押し、近くの余白に正しく書き直してください。

1. 本人に関する内容

受付番号はスカラネットによる申込入力終了後に表示されます。必ず記入してください。

受付番号		1 1 0 0 0 1 0 0 - 1 0 0 - 0 0 0 1 0			提出年月日	
		※受付番号はスカラネットによる申込入力終了後に発行される番号です。必ず記入してください。			2020年 4月	
本人	学校名		学年	組	出席番号	電話番号
	日本学生高等学校		3	1	6	03-0000-0000
	フリガナ	ショウガク マナブ		〒 123 - 4567		
	漢字	奨学 まなぶ		東京都千代田区 1 - 1 - 9		
氏名			現住所			
			生年月日	昭和・平成	14年 11月 18日	
国籍又は在留資格 【該当を○で囲む】		<input checked="" type="radio"/> a 日本国籍 <input type="radio"/> b 法定特別永住者 <input type="radio"/> c 永住者 <input type="radio"/> d 定住者（永住の意思がある者に限る） <input type="radio"/> e 日本人の <input type="radio"/> f 永住者の配偶者等 ※ d～f の該当者は在留期限（在留期間の満了日）を記入（ 年 月 日）				

あなたの国籍と、外国籍の場合は在留資格・在留期限等を記入してください（給付奨学金確認書のみ）。

本人と生計維持者・親権者（1～2名）がそれぞれ自分で署名し別の印を押印

【注意】
給付（様式②）の場合生計維持者と親権者が同じ人・同じ住所でも、両方の欄に記入してください。

2. 生計維持者に関する内容（給付奨学金確認書のみ）

1	氏名	奨学 優	生年月日	昭和・平成 45年 5月 3日	本人との 続柄	父
	現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
2	氏名	奨学 和美	生年月日	昭和・平成 48年 2月 11日	本人との 続柄	母
	現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
本人と生計維持者の資産の合計額		2,000万円未満（生計維持者が1人の場合は1,250万円未満）				

本人および生計維持者の資産合計額が基準内であること給付奨学金案内7ページ参照）を確認し、生計維持者の情報を記入します（押印不要）。

訂正する場合は、二重線で消して、その欄の人が使用した印を押し、余白に正しい事項を記入してください。

3. 親権者に関する内容

本人が未成年者の場合						
本人が未成年者の場合には、親権者（民法で定める親権者のことで通常は母親（いづれかがいないときは一人））が上記本人の奨学金申請みに同意の上、下記に自筆・押印してください。親権者がいない場合は、民法で定める未成年後見人が自筆・押印してください。						
親権者又は未成年後見人	本人との続柄	父	氏名	奨学 和美 奨学 優		和美 奨学
	現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
	生年月日	昭和・平成	45年 5月 3日	電話番号	03-0000-0000	
親権者又は未成年後見人	本人との続柄	母	氏名	奨学 和美		和美 奨学
	現住所	〒123-4567 東京都千代田区1-1-92				
	生年月日	昭和・平成	48年 2月 11日	電話番号		
押し直す場合は、印影や訂正線に重ならないように押印してください。						

記入例をよく見て記入してください。
記入漏れや同じ筆跡、同じ印などの不備があると、再提出となり、決定通知が遅れます。

* 住所は同じでも、「同上」としない！

★ これで終わりです。
お疲れさまでした！